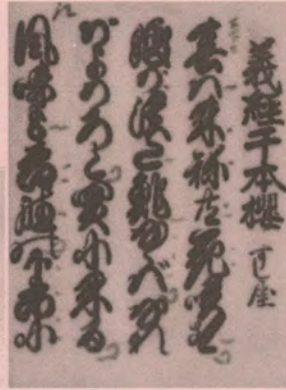
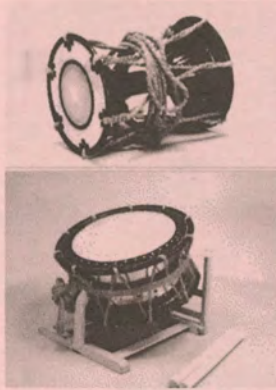




Hamamatsu Museum of Musical Instruments

浜松市楽器博物館だより

No.13
1998.9.30



- 左上：小鼓
- 左下：締太鼓
- 中：浄瑠璃じょうるりで使われる床本ゆかほん (義経千本桜)
- 右：大太鼓を叩く様子

企画展「歌舞伎の音楽と楽器」が開催されます!

期間：平成10年9月29日(火)～10月25日(日)
場所：浜松市楽器博物館第3展示室(常設展観覧料のみ)

楽器博物館では、この秋、歌舞伎に使われる音楽や楽器を紹介する企画展を開催します。展示は以下の4つのコーナーにわかれ、下座音楽の楽器コーナーではビデオを見ながら下座の楽器の演奏を体験できます。

○歌舞伎音楽の歴史

歌舞伎は、17世紀のはじめに京都四條河原しじょうがわらでおこなわれていた「かぶき踊り」に端を発するといわれています(最近の研究ではそれ以前に五條河原ごじょうがわらで行われていたという説もあります)。このコーナーでは、歌舞伎誕生以前の芸能に使われた音楽から、三味線の伝来、江戸時代の歌舞伎音楽の成熟期を経て、現在に至るまでの変遷を、図や解説パネルで紹介します。

○所作音楽の楽器しよさ

歌舞伎の演目の中でも、所作事しよさごとと呼ばれる舞踊には、長唄ながうた、常磐津とこわづ、清元きよもとといった音楽が欠かせません。また、浄瑠璃物じょうるりものと呼ばれる、文楽ぶんらく(人形浄瑠璃)を元にした演目には、感情のこもった語りの伴奏として義太夫三味線ぎだゆうさんざいせん(太棹たさお)はなくてはならない楽器です。これらの所作音楽には欠かせない楽器を、解説とともに展示します。

○歌舞伎音楽の分類

客席から見る事ができる舞台の上で演奏される所作音楽しよさ(長唄ながうた、常磐津とこわづ、清元きよもと、浄瑠璃じょうるりなど)と、客席からは見ることができない黒御簾くろみすの内うちで演奏される下座音楽げざ。

歌舞伎には欠かせない音楽の役割や様子を、図や解説パネルでわかりやすく紹介します。

○下座音楽の楽器

歌舞伎の舞台の下手しもて(客席から向かって左側)に、簾すだれがかかっているところがあります。この奥が黒御簾くろみすの内うちと呼ばれ、下座音楽げざが演奏される場所です。客席からは見ることができないこの場所で、笛・太鼓・三味線などの演奏家が歌舞伎の舞台を盛り上げています。普段、なかなか伺い知ることができない黒御簾くろみすの内うちでの演奏の様子を、体験コーナーを中心にご紹介します。

大太鼓が目の前で出来上がっていきました…

見学会「太鼓ができるまで」

さる7月18日(土)に浜北市の安藤太鼓店を訪ね、大太鼓がどのようにして出来上がるのかを見学しました。参加は少数ながら、皆熱心に質疑を繰り返すなど、熱気のある見学会となりました。当日は、楽器博物館内の世界の太鼓を見学し、太鼓の構造、分類等を確認して大太鼓製造見学に備え、バスにて現地へ移動、暑い中、昼過ぎまでつぶさに工程を見せていただきました。安藤太鼓店では皮づくり、胴づくりに分かれた作業について、社長の安藤さんが丁寧に説明してくださいました。

なんの木ですか？

何の皮ですか？

栓(せ)んです。
平らなカンナで丸い胴を削るのは、
結構技術がいるんですよ。



1

2歳位の牛です。雌(めす)の方が
キメが細かいんですよ。ムダの無
いように裁断していきます。



2

皮のケスリですね。
もっはら裏側をけずります。



3

今度は皮を
軽く張ります。



4

皮を最終的に
胴に張ります。

どの位の期間
干すのかしら？



5

天気によっても違ってきますね。
こうすることで皮に型がつき、かたく
丈夫になるんですよ。
干した後は、数年から数十年の間、
寝かすんです。

どの位時間が
かかるのですか？



6

比較的に緩めに張るか、カンカンという
音が出るまで強く張るかによっても異なります。
皮の上に乗ってカマトで皮を伸ばしていきますが、
体重が少ないと中々時間もかかります。

安藤太鼓店のみなさん、お世話になりました。

興味津々

甦ったロココの音

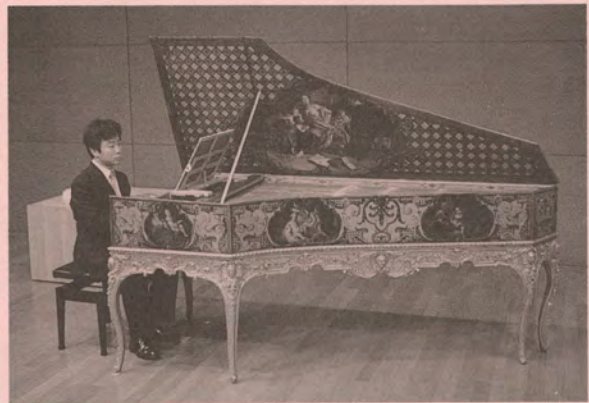
～ブランシェ作ハープシコードの演奏会～

楽器博物館を訪れる人にとって、目の前の楽器の色や形や歴史もさることながら、最も関心があるのはやはりその楽器の音でしょう。どんな人がどんな音楽を、何のためにどこでどのように奏でたのか、まさに興味津々、関心の的なのです。

去る7月11日に開かれたアクトシティ音楽院第2回世界の楽器のレクチャーコンサート“革命前夜～ヴェルサイユのクラヴサン音楽～”は、そんな興味に応えてくれる千載一遇の演奏会でした。楽器は1765年名工フランソワ・エティエンヌ・ブランシェ2世作の2段鍵盤ハープシコード、演奏とお話は当代きっての名手中野振一郎さん。

この楽器、普段は当館入ってすぐ左手に展示されています。金色に輝くフランス・ロココ様式のデザインは、ヴェルサイユ宮殿のインテリアそのもの。代々修復されてきてはいますが、保存状態の良さなどから世界の宝と言える逸品です。230年以上も前のものですから、博物館では約1年をかけてこの演奏会のために慎重に整備調整をしてきました。

当日フランソワ・クーブラン(1668～1733)などの作品を通して甦った音色は、えも言われぬすばらしいものでした。フランス革命以前、ヴェルサイユ宮殿の文化が最も熟していた時代の、繊細で粋で典雅この上ない響きに聴衆はうっとり。ハープシコードファンのみならず中野さんご自身も「今までに出会ったことの無いすばらしい音色です。」とのことでした。(K.S)



楽器アレコレ

～リュート～

リュートはヨーロッパのルネサンスからバロック時代にかけて最も人気のあった楽器の一つで、当時の絵画にもよく描かれています。リュートはアラブ諸国のウードという楽器がヨーロッパに伝わったもので、名称もアラビア語のウードがなまってリュートになったといわれています。

リュートの胴は西洋梨を縦に割ったような形をしており、背面が大きく膨らんでいます。また糸巻き部分の部分が後ろに直角に折れ曲がっているのが特徴です。弦にはガットという羊の腸をよったものを使います。ふつう弦は2本1組(コースと呼ぶ)にはられ、一番高音のみ1本の弦をはります。リュートはルネサンス時代には6～8コース(11～15弦)が主流でしたが、時代とともに音域を広げるために弦の数が増えていきました。バロック時代には12コース25弦にもなり、低音が出せるように2mもの長い弦を張るものもでてきました。

あまりに弦の数が多く、演奏技術も難しくなりすぎたため、一般の人々にはリュートは弾きにくく、代わりにギターを弾くようになりました。ルネサンス～バロック時代には、リュートのための音楽が多くの作曲家により作られ、バッハもリュート組曲という大曲を残しています。しかしこれ以降リュートのための音楽はほとんど作られなくなり、代わりにギターがヨーロッパ各国でもはやされるようになりました。(T.S)



●当館所蔵のルネサンスリュート

これからの催し物

事業名	開催期間	内容
企画展「歌舞伎の音楽と楽器」	9/29(火)~10/25(日)	歌舞伎に使われる楽器の数々を舞台裏の様子も織り交ぜて紹介します。
企画展講演会 「江戸時代の芝居小屋」	10/24(土)	芝居小屋を中心とした江戸時代の庶民の風俗について分かりやすく紹介します。要申込、9/29より電話で楽器博物館へ。
展示室ガイドツアー	10/11・11/8・12/13 (毎月第2日曜日)	展示品の解説を行います。
ミュージアム・サロン	9/20・10/25・11/15 (毎月1回)	楽器文化ワンポイントミニ講座です。

博物館日誌6~8月

6/14(日)	展示室ガイドツアー「鍵盤楽器の歴史~ピアノ編~」
6/21(日)	ミュージアム・サロン「クラリネット」
7/12(日)	展示室ガイドツアー「リード楽器」
7/18(土)	見学会「太鼓ができるまで」
7/19(日)	ミュージアム・サロン「日本の太鼓」
7/22(水)~8/30(日)	企画展「楽器の科学」
8/9(日)	展示室ガイドツアー「管楽器にみる人間の知恵」
8/16(日)	ミュージアム・サロン「楽器の科学実験室」

お知らせ

- 博物館では国内外の楽器とその周辺文化の調査をしています。来月に調査報告書が出る予定です。内容はモンゴルの楽器や、北遠の芸能(川合花の舞、今田花の舞、西浦田楽)についてです。また、来年には以上の楽器や音楽等を紹介する映像を館内で見ることができるよう、作業を進めています。
- 文化の日(11/3)は、当館見学は無料になります。

5~8月の観覧者数

大人	24,678
中人	966
小人	6,122
幼児	1,394
合計	33,160

利用案内

開館時間：火曜日~日曜日 午前9:30~午後5:00
 休館日：月曜日(祝日にあたる時は開館)、祝日の翌日、年末年始、
 その他資料整備等のために定める日
 一祝日前後の開館日については、変更することがございますので当館にご確認下さい。一

観覧料：	個人	団体(20人以上)	団体(80人以上)
大人(大学生以上)	400円	320円	240円
中人(高校生)	200円	160円	120円
小人(小・中学生)	100円	80円	60円

※館内には、貴重品以外のお荷物は持ち込みできません。

浜松市楽器博物館だより

1998年9月30日発行

No.13

編集 浜松市楽器博物館

〒430-7790 静岡県浜松市板屋町108-1

TEL.053-451-1128

FAX.053-451-1129

印刷 オオゼキ写真印刷株式会社